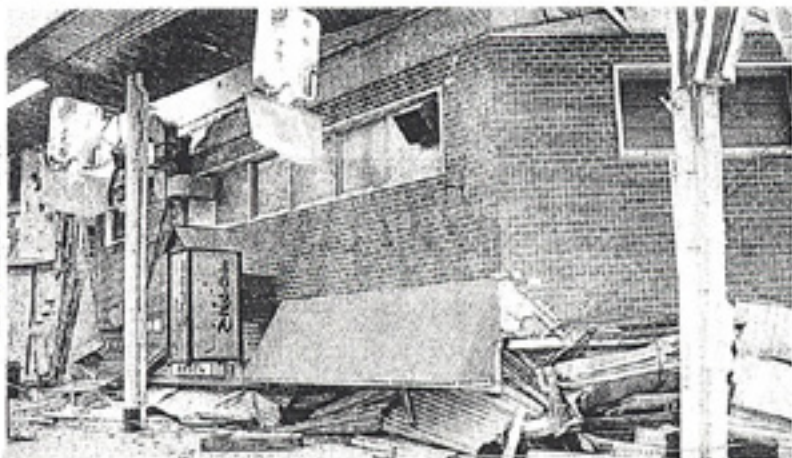


くらし

# 解説的読本

.....読めばたちまちよく分かる

震度も強さという記号的な揺れを測定した地震計の設置。九州でも熊本中部でマグニチュード4級の地震が昨年から発生しており、四国では地震活動期に入るとみられる地震学者は少なくない。一九九五年の阪神・淡路大震災では六千人を超えて人命が失われ、その多くは潰壊した住居の中で圧死した。もし大分県地震が起きたとき、あなたのお家は大丈夫だろうか。



## 壁、筋交い…点検を

# 我が家は安全か

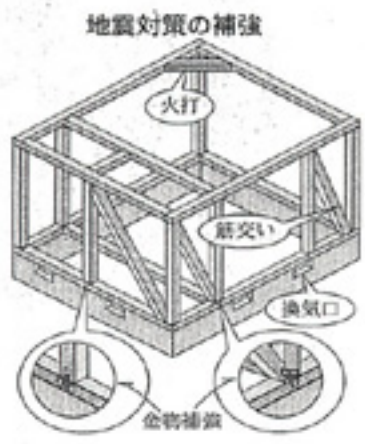
### 地震…西日本は活動期

この夏、大分県建築士会は「無いつらい数字になった。診断に前掲で、三つのポイントを確認す

壁

「百年の耐震性」疑問を待つか。阪神・淡路大震災の調査を踏まえて、先の大震災で調査が自立

「我が家は地震に耐えられるのか?」... 耐震診断の重要性を説く。建築士などの専門家に依頼し、家の構造を点検してもらう。...



## 耐震診断 まず自分の目で

「我が家は地震に耐えられるのか?」... 耐震診断の重要性を説く。建築士などの専門家に依頼し、家の構造を点検してもらう。...

## 補強—公的補助が課題

阪神・淡路大震災では、耐震基準が導入された一九八一年(昭和五六年)以前の建物の倒壊が目立った。古い住宅は是非チェックしてほしい。...



こんな住宅が危ない!

- 1 壁の量が少ない・配置バランスが悪い
- 2 筋交いが弱い・接合部補強がない
- 3 水回り部分などの腐朽、シロアリの食害

安定した地盤でも要注意

強度

「二」目のポイントは壁の強度。古い建物では、壁の中に柱が埋まっていたり、接合部が弱いために耐震力が低下している。...

材

三つ目は木材の腐朽やシロアリの食害。材が腐るとは耐震力の問題となる。...